

R7.1.16 水道料金改定案住民説明会での主な質疑応答

出席者からの質問	町からの回答
水道管の老朽化について施設の更新は間に合っていますか。	老朽管の更新についてですが、まず私達は日々新しい管を埋設しております。新しい管とは耐震管に変えるということになっております。 漏水の箇所なんですけど、本管からは今ほとんど漏水がございません。 本管から各家庭に繋がる給水管がポリエチレン管というもので古い管になっておりまして、非常に弱い管です。その部分から、漏水が発生している状況ですので、そちらについても漏水の修繕を行っています。令和5年度は年間で59件ほどやっております。給水管の部分と漏水修繕する部分をあわせて年間で100件ほどやっているところでございます。 いずれにせよ管理について本管につきましては、50～60年が過ぎない間に入れ替えております。計画を立てながら、敷設替えをしていく予定になっております。
実際の総使用水量と家事用が全体の何%なのか教えてください。	本町は、近隣の他自治体と比べて大口需要者が少ない状況です。件数で言うと家事用が89%とアパートやマンションの共同用が6%になっているので合計95%くらいは家庭用の水利用となっております。 料金収入額で言うと家事用が70%、共同用が9%で約80%を占めています。年間総使用水量は年間170万m³から200万m³となります。
ITを使用して漏水状況の調査なども検討していますか。	衛星で地下水を確認すると漏水している個所が大まか確認できるものがあります。ただ、与那原町のように面積が狭く、密集している場合は、コストパフォーマンスが割高になります。 町だけではなく、南部や県全体で行うという話があれば採算が取れるのではないかと考えています。 現在はアナログではあるが実際に町内を2周程しながら調査を行っています。コストを考えると安くて確実だと考えています。 管は50～60年耐用があるので時期が来ると更新しないといけなくなるので、できるだけ更新時期を平準化して、漏れ出す前に更新していくような状況です。

	衛星を使用しての調査についてはまずは南部地区で協力できるところはお声がけしていけたらなと考えております。
使用者への広報活動はどのように行うのか。	検討委員会の中でも答申で丁寧な広報活動に努めるよう意見頂きました。今回の料金改定の内容や水道事業の役割等をアピールしていく予定。周知の方法は町広報や町ホームページ、町の Line やチラシを活用して行いたいと思います。